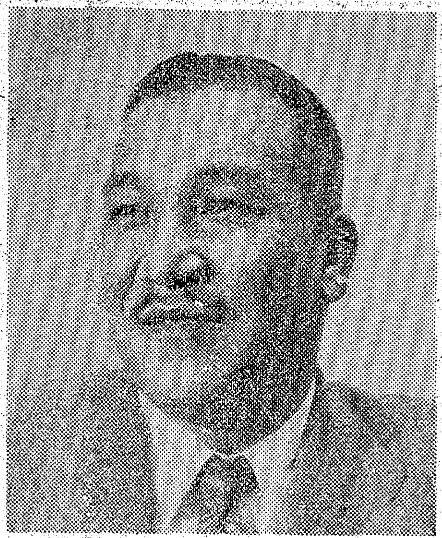
磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

讃辭と共鳴に沸き立つ

「藤二雄（トウニオ）」の放送

新人的氣魄に好感もたる



新人候補としてその誠実と純朴性が日毎に一般大衆間に侵透し高木、関内兩候補の併立戰の中央の間隙にグン〳〵伸び出しいまや兩候補を脅威せん勢いにまで進出しつゝある自由黨鳩山後援会推薦藤二雄候補は十六日午後九時十五分NHKから選擧民に對して初の放送を行つたが、至誠を吐露する演説の新人的氣魄と正直な訴えは三區内二十三万有權者に極めて好感を持つて迎えられ各町村の一般選擧民大衆から「藤二雄」の認識を新たにした「候補者の片鱗を伺うに十分であり好感がもてる」等の讃辭と共鳴の聲が起つている、以下は當夜の放送内容である

福島第三區の皆さん、私は鳩山後援会の推薦をうけた自由黨の藤二雄であります

この度の候補するに當りまして聊か私の日頃考えていることを述べ皆さんの御賛同を得たいと存ずるものであります

申すまでもなく日本は去る四月獨立致しました、然しその獨立は形式的のものであつて眞の獨立國になつていないのであります、この日本をして世界の何處に出しても恥かしくない立派な國に仕上げることが吾々日本人に課せられた絶對にして崇嚴な義務であります

現代は勿論次の時代を背負つてたつ子供のためにもこの困難な道を打ち開くことに私共は悲壮なる感激をもつものであり、世界の何處の國からも何の制限をうけず、壓迫も感ぜず、自由に平等に交際し、通商出來得る國に仕上げるために私は全身を捧げるべく政治の第一線に立つたのであります

御承知の通り自由黨は十大政策を天下に發表し私共はこの旗印のもとに選擧に臨んだのでありますが、その基調をなすものは平和と自由であります それは豊かな生活を築くことであり云い換えれば生きとして生けるもの、即ち吾々家庭の生活を守る政治であります

然るに今日、私の見るところでは農村漁村を始め中小商工業者、炭礦地帶など一般の勤務者は凡て行詰つている現状であります

皆さん!!皆さんを含めた東北地方の吾々が過去幾十年、果して時の中央政府より政治の恵みや文化の施設などを他の地方同様に公平にうけてきたでしょうか

關東、關西に比して産業の發達が遅れているのは何に起因しているか皆さんよくお考え下さい、勤勉と至誠に於いては他の地方の人々に劣らざるものを持ちながら、何が故に斯くの如く輕んぜられなければならなかつたか 私は卒直に申上げたい、失禮ながら過去に於ける政治家が皆さんの利害を自らの利害とせず、皆さんの希望を自らの希望とせず、皆さんの聲を更に大にして強く中央政府に反映させるところがなかつたからであります

いま私が皆さんの悩みを知り、皆さんの望みを知り、私の背後に皆さんの力強い聲援あるを知るとき 私は渾身の勇を振つて中央政府に反影させる責務を痛感するものであります

藤二雄は淺学非才、皆さんに誇る經歷の何ものももつてはおりませんが、慘めなる祖國日本の姿を想うとき涙せずには居られないのであります

今回の總選擧に當りまして自由黨縣支部の一部幹部が私を黨員として認めないような悪宣傳を行つたことは實に滑稽至極であります、私は古く青年の頃、政友會の領袖として政界の大立物であつた床次竹二郎先生に師事し一黨員として仂かして戴いてきたものであり、戰後鳩山一郎先生が自由黨を結成されるに當り 私もこれに馳せ參じ今日に至つて居る次第で黨本部としては私を認證し、鳩山後援会は逸早く推薦したものであります

藤二雄は絶對にウソの云えない男であり、誠実をもつて皆さんの御期待に背かざることをお誓い致すと共に、一身を祖國に捧げる決意をもつて立候補致しました どうか皆さん 御理解ある御同情を藤二雄にお願い致します

議員ずれせぬ……新人を選べ

選擧戰も刻一刻と大詰に迫り國民の好むと好まざるに拘らず 黨略に大きく物言わせた自由黨が第一黨におさまることは大体間違いない情勢で然も現役組が壓倒的に全國の大勢を決しているかのように中央紙は報じている 吉田内閣に國民の信頼が薄すれ、信を國民に問うた結果が再び吉田を担ぐ一連の馴れ合い世帯を作り上げるとしたらこれは一体どんなものか 國民は省みて選擧の意義に心からなる滿足感を抱くであらうか 改進黨も、右左社会黨も自由黨粉碎の力に缺け、第一黨実現未だしの感ある今日、諸派に至つては人と政策に於いては大いに缺けるものなしとしないが、質より量の現政界では、かつての獨乙新兵器が性能に勝りながらソ聯の古典的火器の量に制壓された結果に等しく、政策実行面に期待うすという弱点があり國民の一票が實行力をねらつて自由黨に集るのは凡そ以上のような經過を辿つた結果と見られている、然し頭が二つになつた自由黨が選擧の結果どの程度の推進力を持つか静かにプロペラーを点檢してエンジンの音を聞いている國民が果してどの位あるであらうか、獨立日本の自主的政策が吉田政權によつて確立されないということは、過去數年來彼のとつてきた日和見主義的右顧左ベン行政で國民はハッキリ知り過ぎた筈であり、單に外交政策のみならず、國内的な諸施策も眞に滿足しているものはその政黨黨員の極めて少数者に止ゞまるのではないか

その議員連の中にすらワンマン獨善をひぼうする徒黨があつて滿足に黨首領の宰量さえ持ち合せぬものが政黨政治のヘゲモニーを握つている自体すでに可笑しなものである その意味において鳩山の政界復歸は吉田よりましであるが、國民が眞に希うているものはもう少し清新な果物を見るような新人宰相と新人議員ではあるまいか、新人宰相が実現難の見透し下の今日せめて議員だけでも、良識と誠実とチカに國民と共にある政治意識の旺盛な、いはゞ政界革新の清涼剤となる新人議員を送りたいものである、新人議員は押しがきかぬというがとんでもない、政治は押しや引きではないのである、またさういうところのいわゆる何年議員が押しと引き以外に何を学んだか、國民と共にどの途を歩ゆんだか、一番勉強して進境目醒しきは選擧戰への技術位が關の山だらう、成るほど選擧戰テクニックは見上げたもので純情にして良心ある新人は到底太刀打ち出來るものではない

斯うした点からも選擧民は因習とか傳統とか怪しげな枠を拂い眞に國民と共にある政治家眞に國民の意志を代行し得る政治家の發見につとむべきであり、このような政黨悪に染まない政治ずれのしない新人だけが明日の日本を規制する公僕的良心を持つていると斷ずるのは敢えて筆者一人ではあるまい

小野候補演説會

應援に大井川縣議

福島第三區の改進黨公認候補小野一雄の個人演説會は二十一日午後七時より九時まで小名浜第一小學校講堂に於いて行われる

當日は改進黨縣連会長大井川縣議が第二區より立候補された林平馬の應援より馳せつけ小野候補のために熱辯を振うことになつている

なお二十日には湯本町平和会館に於いて演説会が開催される

菊田方部の運動會日程

菊多方部小中學校の秋季運動会は次の日程で行う

十月十二日 植田小学校

九月廿一日	植田中學校
十月十二日	錦小學校
九月廿八日	勿來町第一小學校
九月廿三日	仝 第二小学校
九月廿八日	仝 第三小學校
九月廿一日	仝 中學校
未定	上遠野小學校
仝日	仝 中学校
九月廿一日	錦中学校
九月廿一日	川部小学校
仝日	仝 中学校
九月廿一日	田人小学校
九月十七日	仝 中學校
十月三日	山田第一小学校
仝日	仝 中学校
九月廿八日	仝 第二小学校
未定	入遠野小学校
仝	仝 中學校
九月廿一日	渡邊村小學校
仝日	仝 中學校
九月十九日	泉村小學校
九月廿一日	仝 中學校

小名遺族會の役員會

小名浜町遺族会（会長鈴木貫義氏）では二十一日午後一時より公民館に役員会を開き次のような秋の行事を協議する

▼靖國神社秋季大例祭に生活に困つている遺族十名〜十五名に補助を與えて參拜させる

▼公園の慰靈塔に戰没者の氏名を彫り込む費用三万五千円の醵金方法

▼秋季例祭の取りやめ

磐崎各校の秋季運動會

磐崎村各學校の秋季大運動会は二十一日—長倉小學校、二十五日—藤原小學校、十月三日—磐崎小学校と決定した なお當日は各方部別に七十才以上の老人を各校に招待して記念品を贈り慰安する

天氣豫報 19

【本日】北西後南の風、良い天氣で日中は暑くなりますが朝晩は涼しいでしよう

【海上】穏かです

魚菜市況 18

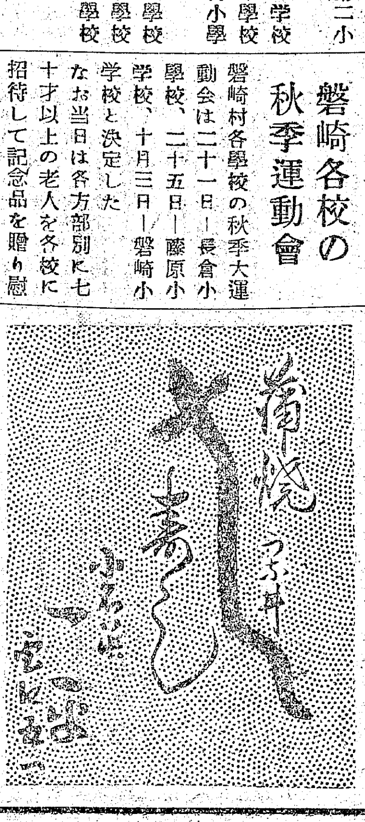
卵一〇〜一二、五茄子六〜一五玉菜八六〜九〇なた豆一一〜七〇胡瓜一五〜四五葉生姜六〇〜八五甘諸四〇〜六〇里芋六〇〜七〇人蔘一七〇〜二〇〇葱五〇〜七〇大根六〜三六丸大根一五〜二五馬鈴薯四〇〜四五牛蒡四一〜五〇玉菜九〇栗二五〇二五五枝豆三〇〜四三梨一二〇〜二一五小豆一五〇胡麻一五一

【小名浜魚市場】

すゞき九〇小平七七〇

新案特許 東和カマド
純珪藻土製品の最高峰
驚く程燃料のいらない
火力强大！
保温絶大！
時間經濟！
簡便重寶！

最寄販賣店にあります
品切の節は当店へ
◇新專用煙筒付新入荷
浜三郡代理店
榮屋商店
小名濱町古港 電話三番



本日開店
数奇屋造のホール
美人揃の
壽々濱
小名浜町竹町91（金美館裏通り）

昔なつかしテイジロの吸出膏
オデキ、腫、化膿してる處なら
切らずに癒る自信をもつておす
ゝめ出來るテイジロ膏
専門店会に加入しましたチケ
ットを御利用下さい
サイトウ薬局
小名浜町松之中 電678

秋期サービス!!
九月十月一杯
輕飲食店
スナック
◎すべてを取揃へてあります
小名浜町水素前通り

小兒科
内科
賀澤醫院
小名浜町花畑三七
電話二九三番

勞資協調の實をあげ 躍進する日本水素

年産目標は十八万噸

東北随一の化学肥料工場として躍進の一途をたどる日本水素小名浜工場（工場長大場閑雄氏）は生産率も漸次上昇を續け好成績をおさめており、硫安、硫酸、メタノール、液安など年産目標總噸數一七八、七八六噸の達成に全工場挙げて懸命な努力をはらっている

本九月の生産目標は

▽硫安七、五〇〇噸（年産目標九二、〇〇〇噸）であるが現在四、二一六噸の製品を出し特に十六日の如きは三三〇噸という超記録を示した

▽硫酸は五、〇〇〇噸（年産目標八〇、〇〇〇噸）現在二、〇一八噸で八月の生産量三、九三六噸にまで漕ぎつけようとしている

▽メタノールは六〇〇噸現在一四五噸

其の他液安なども好成績を挙げているが、これは去る三月竣功した化成肥料工場の操業と去月五日より二十五日まで全工場一齊に行われた定期修理に最新機械を取付け生産能力の強化を圖り、従業員もまた勞資協調の實をあげて生産に努力した結果にほかならず、農業國として肥料の自給化が強く叫ばれているとき日本水素に課される期待は大なるものがある

孫の踊りに喜悦

小名一小の敬老會

小名浜町第二回敬老会は第一婦人会（会長松田美枝氏）の協力を得て十七日午後一時より第一小學校講堂に於て開かれた

夜來の雨も此の日を壽ぐかのように晴れ上り、孫に手を引かれて參会した御老体は百七十余名にのぼり婦人会員の案内にて着席、まず水野町長より祝辭があって慰安演藝会にうつり学童達の歌やダンスに老顔をほころばせていた

婦人会員の隠し藝や五條さん門下の可愛いお孃さん方の踊り小野縣議の母堂さんたち年寄りの「冷水会」の磯節、大漁節は一同を喜ばせ、次いで竹本喜樂太夫が喜美太夫の三味にあわせて「寺小屋」の抜き讀みを語れば瞼に白いものを宿らせ五條雪美さんの踊りはアンコールの波に湧き 年はとってもと飛び出した菅野さんが腰をのばして「我がもの」を踊ればヤンヤの拍手に「梅が松」を踊るなど泣き笑いの一日であったが村上厚生課長の「めでた」で目出度く謡いおさめられ、迎えの嫁さん孫さん達に手を取られて「ありがたい世の中になりました」と町から贈られた記念品を片手に歸って行った

ブリさん
米澤久
6
美人しんさ員です
美人コンク
ブリさん呼んでます
足をぐっとあげてむねをはって

サンマ八千貫水揚（小名）

小名浜町伊藤三男氏所有の運搬船第五明神丸（六七、三三屯）は十三日北海道釧路より「サンマ」八千函（一函三貫五百入）を積み十八日早朝小名浜港に入港、六百八十円から七百円にて取引きされ主に縣外に送られた

磐崎の住民登録集計

磐崎村戸籍係では去る七月一日現在で行った住民登録を集計中であったがこの程まとまり次のように發表した

全世帯數…二、一四九

單獨世帯…四八

二人―五人…一、一五二

六人―十人…九七四

十一人―十七人…一二

十八人以上…二

世帯全員が本籍を有する世帯數…一八七八（八七％）

登録人口…一一、八三九人（男子五、九四六人 女子五、八九三人）

本籍を有する人口…九、三九〇人

なお男子は五十六名多くなっている

農改代表の協議會

湯本地區農業改良推進代表者協議會はこの程全事務所に於いて開かれたこの協議會は農業改良普及事業について推進員の連絡及び活動の強化を圖り事業を強力に遂行する目的のもとに開かれたもので次の役員を方部別に選任した

会長＝小松多嘉（内郷）

副会長＝小久道太（湯本）

会計＝中村湯本地區改良技師、

役員＝箱崎孝一（磐崎）田中正德（江名）佐原嘉久司（鹿島）

なお小名浜、豊間の両町は未定

小名浜港の水揚

八月は十二萬四千貫

小名濱水産試驗場では十八日小名濱港に於ける八月中の魚種別水揚高を次の通り發表した、尚八月に比較すると十二万四千三百八貫の増となっている（單位貫）

▼鰹旋網漁業五隻（延一五隻）……まいわし（一九九）他いわし（三九九）かつお（七一）まぐろ（一〇）さば（四二二）ぶり（一四六）たい（十六）ひらめ（六）あじ（三八）すずき（二五）其の他（五八）計一、三四九

▼旋網漁業二六隻（延三六隻）……まいわし（三五六）他いわし（四八二）かつお（二三、五九一）まぐろ（一二、九〇二）かじき（五四）其の他（二四〇）計二七、六二五

▼地曳漁業八隻（延一九〇隻）……他いわし（一五）かつお（三）さば（五三）ぶり（一一九）たい（三）ひらめ（一五六）あじ（一、七九一）すずき（三五）このしろ（二）たこ（一）えび（一七）其の他（三六九）計三、〇三三

▼定置漁業二隻（延一九隻）……まいわし（九）他いわし（五八）かつお（一、六二六）まぐろ（二六八）かじき（六五）さば（一、三四〇）ぶり（四六、六九七）さめ（一、一三〇）たい（一三二）ひらめ（二七）あじ（一七九一）すずき（三）たこ（三）いか（二六）其の他（三六九）計七二、七〇一

▼延繩漁業二一隻（延五五隻）……かつお（一）まぐろ（一三五）かじき（一〇六）さば（七八（三六三）たい（七）ひらめ（三〇三）すずき（九二）めぬけ（三四〇）あいざめ（五）ほっき（二九 其の他六四、計一、四三三

▼かつお釣漁業……かつお（二七、一二一）まぐ（二、一八二）其の他（四〇六）計二九、六九九

其の他漁業……他いわし（一一）まぐろ（八九）かじき（二三〇）さば（一八六）ぶり（二一）さめ（三七九）たい（一一六六）かれい（四）ひらめ（二、〇七六）あじ（六八二）すずき（七四〇）たこ（二、二一六）えび（五）あいさめ（九二）あくび（一五二）其の他六一八 計七、一五五

總計一五一、六七四

水素で演劇發表會

職場演劇の波に乗り昨年春より各課対抗演劇コンクールを二回に亘って行って來た日本水素勞組では此の程安積光男、平田和民、村上房夫君等が中心となって演劇藝術の研究から生活の享化、眞理の探究をはかろうと演劇部を組織したがその發表会を十月二日日本水素講堂に開催して第一聲を上げる事になった

◉「華々しき一族」森本薫作 三幕一場

▽スタッフ演出 平田和民、助演出 齊藤貢二 裝置 伊澤賢治、照明 阿部一男、衣裳 鈴木仲子、舞臺監督 水澤松次

▽キャスト 平田和民 永井千代子、拔山忠、鈴木英子、生田保子、小倉正孝

◉「結婚申込」チェーホフ作 一幕

▽スタッフ演出 安積光男、裝置、舞台監督 伊澤賢治、照明大塚良次 衣裳 川村照江

▽キャスト 地主 村上房夫、その娘 西村幸代、隣人 大木常和

なお東京本社から前組合長小林安彦氏等が久保田万太郎作「宿怨」を引っさげて参加する予定であり各課のベテランをピックアップしたスタッフ、キャストだけにその成果は期待される

磐城丸北海道へ

サンマの漁場調査

サンマ漁業の解禁を控えて縣水産試驗場指導船磐城丸は十八日午前六時北海道釧路落石東沖合より青森縣鮫沖及三陸沿岸にかけてのサンマの回游情況を調査するため小名浜を出港した

なお茨城水試の茨城丸、宮城水試の大東丸、岩手水試の岩手丸などの三船は東北水産研究所の依託によって去る十日より北海道沖のサンマの回游情況を調査しており本十九日夕刻までにはそれぞれ無線によりサンマ群の動勢及漁場の具体的な調査報告があるはずである

四倉小の運動會

四倉小學校の秋季大運動會は來る二十八日午前八時より全校々庭に於いて行われる

カニの販賣を禁止

平保健所

十四日夜好間村西區採炭夫阿部順二さんら二十四名が行商人から「ユデカニ」を買って食べたところ猛烈な食中毒をおこし古河炭鑛病院で手当を受けた結果幸い夕方迄に回復したが、同村には同様の中毒症状をおとして自宅で治療した者が五十名もあり、また平市内でも八名の中毒患者が出たと届出があったため、平保健所では十六日管内各市町村に對して当分の間「カニ」の販賣を禁止するよう通達すると共に一般に対しても蟹類を食べぬよう注意を促して居る

八戸沖合で米軍演習

十七日第二管区海上保安部より小名浜海上保安部への入電によると八戸沖北緯四〇度四二分～東徑一四一度五七分、北緯四〇度四八分～東徑一四二度一九分、北緯四〇度一二分～東徑一四二度三五分、北緯四〇度六分～東徑一四二度一四分の四点を圍む海上は來る三十日まで毎日午前七時より午後八時まで米軍の演習が行われており、附近を航行する船舶に注意をうながしている

―郷土の新聞―
磐城日々

求人（平職安小名浜分舍）

【男子】三輪車運轉手一名一八～三〇才住込三〇〇〇、電工一名一八～二五才住込二、〇〇〇、加工夫数名一八～二〇才住込二、五〇〇、釀造工數名住込二、〇〇〇、土工数名一八～四〇才通勤二二〇〇

【女子】雑役一名一八～二三才住込一、〇〇〇

各種印刷の御注文は長瀬

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子
動物ヨーチエン百匁60円
ビスケット 百匁50円

學生さんへ
上質ノート 16枚 5円
上質大學ノート15円より
野球帽55円より110円
赤タスキ赤白帽15円より

御孃さん奥様へ
夜具地 反 270円より
白牛地ヤール 55円より
化粧品柳屋メヌマ ジユジユペピリオ } 80円
花王洗濯石鹸徳用型10円

御勤の皆様へ
ネクタイYシャツ特別奉仕
皮底サンダル460円より
男女雨靴650円より各種

小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

産婦人科 レントゲン
久保田醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町（電二二）

商店向土地付賣家
場所 専賣公社製塩工場前
建坪 二十一坪 八・六・四 炊事場付
御用の方は本社へ御連絡迄

土地付賣家
家屋 二戸建十九坪
土地 九十三坪
場所 水素会社正門
御希望の方は御来社下さい

電話早見表発行について

昭和二十五年以來小名浜に於ては今局区内の電話番号早見表は印刷されて居らず、加入者は非常な不便を感じているため本社は本年度の新設電話をも含めた新しい電話早見表を發行する事になり、印刷に取りかゝっております、この早見表には一般廣告の掲載余地もありますので希望者は至急お申込み下さい、御連絡あり次第社員を參上致させます

昭和二十七年九月
磐城日日新聞社

蟲蟲下し
徹底驅除しよう
是非お奨め致します
マルヰの相互虫下しを
マルヰ薬房
小名浜町西町 電一一五